

姉妹校交流報告（ニュージーランド ローズヒル・カレッジ）

平成31年3月17日（日）～24日（日）の日程で実施しました。



1日目

成田空港で最初の記念撮影。今回は1年生が9名、2年生が6名、合計で15名の生徒が今回の訪問研修に参加しました。ニュージーランド航空でオークランドへ。

2日目

ようやくオークランドに到着しました。現地ガイドさんの案内で、マウントエデン、オークランド戦争記念博物館を見学しました。マオリの文化、ニュージーランドの自然と野生動物、そして第一次・第二次世界大戦に関連する展示資料及びニュージーランドの死火山についての展示を見学することができました。

その後オークランド郊外のパパクラへ移動。ニュージーランドの姉妹校、ローズヒル・カレッジに到着です。ホストファミリーやスタッフが温かく歓迎してくれました。どのホストファミリーも明るくフレンドリーで、大和西高校の生徒を温かく迎えてくれました。いよいよホームステイの始まりです！



3日目～5日目

午前9時、ローズヒル・カレッジに登校。

朝から全ての授業に参加しました。フレンドリーなバディーに助けられながら、本校の生徒たちも頑張って授業に参加していました。本校の生徒たちにとって、授業についていくことはとても難しかったようですが、バディーたちに助けられながら無事に過ごしました。



本校の生徒が6グループに分かれ、「お寺と神社」、「日本の食文化」、「横浜・大阪・富士山」、「東京」「日本の

伝統的な遊び「着物」をテーマに、日本文化についてプレゼンテーションをしました。ほとんどの生徒にとって、英語によるプレゼンテーションは初めてのことでしたが、事前の準備を重ねてきたということもあり、当日は堂々としたものでした。クイズ形式や実演なども取り入れたこともあり、ローズヒル・カレッジの生徒も楽しく参加していたようです。この後、マオリ文化（舞踊や遊び）を体験しました。

5日目は修了式があり、修了証書とローズヒル・カレッジのマスコットであるプキコを頂きました。

6日目

オークランド中心市街へのフィールド・トリップです。CCEL（カンタベリー教育大学附属語学学校、オークランド大学と提携）にて授業体験をしました。サウジアラビア、中国、タヒチなど様々な国から来た生徒の人たちと楽しく話すことができ、是非留学して英語を学びたいと思うようになった人も多いようです。この後はそれぞれ自由行動となり、市内を散策したり、カウントダウンというスーパーでお土産を買ったりして過ごしました。



7日目



ホストファミリーと過ごす最後の1日です。それぞれの家庭で、楽しい時間を過ごしました。午後6時半には集合場所となっているホテルへ送っていただき、7日間を一緒に過ごしたホストファミリーともここでお別れです。感謝の気持ちを綴った手紙を渡して、涙目でお別れのハグ。とても寛大で、優しく温かなホストの方々でした。この出会いを忘れないように！

8日目

朝食後、パッキングを済ませて、ホテルを出発。

温かで穏やかなニュージーランドの人々との交流は、きっと生徒にとって忘れがたい貴重な経験になったことと思います。今回の訪問をきっかけにして、さらに英語学習と国際理解への関心を高めてくれることを願っています。